

こんにちは 日本共産党の
竹永みつえ
です

発行
日本共産党岡山市議団
〒700-8544 岡山市北区
大供1-1-1 市役所内
TEL 086-803-1707(直通)
FAX 234-9388(直通)



2012年
今年もよろしくお願ひします!

新しい年が始まりました。昨年3月の東日本大震災は、政治のあり方、個人の生き方など根本から問われる大きな出来事でした。また原発事故は人災です。原発のない社会をめざし、広範な方々と手を取りあって自然エネルギーの再生をめざす必要があります。市議会では、4月に再選をさせていただきました。あらたなメンバーで議会改革の先頭に立ち、市民にわかりやすい議会へと頑張っていきたいとおもいます。今年もよろしくお願ひします。



11月定例議会 個人質問より～

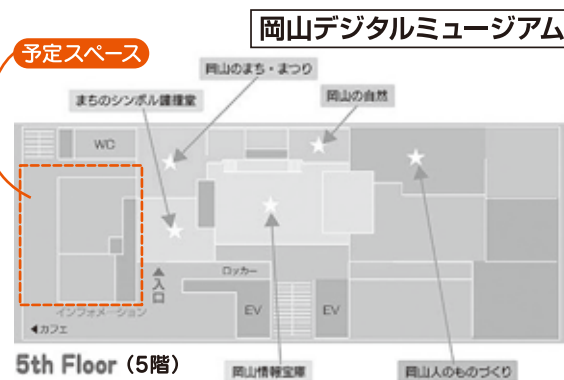
その1 岡山空襲戦災資料館〔仮称〕へいわかんの早期オープンを!!

これまで、市民の方が中心に、岡山空襲の悲劇を繰り返してはならないとNPOでへいわかんを開設・運営していました。公設のへいわかんはそういう方々の悲願であり、被災者が高齢化する状況の中で待ったなしの課題です。

竹永議員は開設をもとめ議会でも取り上げ続けてきました。市はデジタルミュージアムの一部に開設すると表明していますが、11月議会ではその時期や具体的な運営方法などより、詳細な答弁をもとめました。市は今のデジタルミュージアムの5階の手前のスペースを提供した

いこと、また出入りに近い関係でオープンな空間にしたいこと、収納スペースはデジタルミュージアム内では限度があるため、岡山ふれあいセンターも含め検討する等の答弁がありました。開設時期は、改修、展示の準備、デジタルミュージアムの行事などに影響を及ぼさないように日程調整すると6月29日の岡山空襲の日には間に合わないが早期展示を目指したいとの答弁。竹永議員は「オープン記念日は大事な日なので、せめて8月15日の終戦の日を目指し頑張りたい」と再質問でせまり、保健福祉局長は「ご

期待に沿えるよう可能な範囲で早期実現をめざす」と答弁。今NPOが管理している資料の受け渡しや運営のノウハウなど団体と協議をし、よりよい岡山空襲戦災資料館（仮称）の開設を要望しました。



**その2 米軍機の低空飛行は危険！
市民の命を守るために
国・県に
はっきり再発防止を!**

昨年9月26日岡山県南部の上空で米軍の軍用機と見られるジェット機2機の日撃、爆音情報が相次ぎ、11月議会で質問しました。市は防衛省中国四国防衛局（広島市）から「米軍岩国基地（山口県）所属の米軍機だった」との報告が9月30日にあったことを明らかにしました。日米合同委員会の合意では、航空法で定めた市街地上空の最低高度基準300メートルに従うとしており、「当日も合意に従って飛行していた」との回答。「また11月6日にも、轟音が響いたという情報があり低空飛行ではないか？」との質問に、「住民から何も情報が寄せられておらず把握していなかった」とのことで、危機管理能力の低さが露呈しました。情報の一元的管理の必要性については、「対処計画の策定を予定している」との答弁。「学校や病院等に配慮をという合意文書に違反ではないか？」との質問には「国の専管事項なので国において責任を持って適切な対応が行われることを期待している」との答弁で、市として、国や県がどうであろうとまず市民の命をまもるという積極姿勢はうかがわれませんでした。

津山市では民家の土塀がこわされるという直接被害がありました。東区でも吉原の健生園では轟音で会議を中断した、西大寺中学校でも教師が轟音におどろいて空をみあげると、はっきり戦闘機が目視できたとの情報も入っています。今回は音だけの被害ですが、合意文書に従い、病院や学校等に配慮することや低空飛行の禁止をもとめて引き続き声を上げたいと思います。

その3 今なぜ？コンベンション施設？ 岡山文化振興計画ビジョン策定 にあたって！

高谷市長は、岡山市駅前の旧林原駐車場跡地に3,000人規模のコンベンションホールの建設を希望しており、同跡地に進出予定のイオンモールの代表者と懇談をしています。竹永議員は11月議会で、岡山市文化振興ビジョン〔素案〕の策定とからめて必要性をたじました。現在、国際会議観光都市と指定されているところが52箇所あり、これとは別にコンベンションビューローと呼ばれている機関が全国的に70箇所、コンベンションの専門施設は36箇所という状況の中で、国内での誘致合戦にどう打ち勝つのか？

竹永議員は「福岡市は、国際会議場とマリンメッセ、国際センターが併設され一体で国際会議を誘致しているのです1200億円もの波及効果がでていいる。また幕張メッセは、東京ディズニーランドと連携し、近隣の店舗200店舗以上がクーポン券を発行して、町中で誘致が成功しているのです、一日14億円もお金が町におちている」という成功例を紹介し、岡山市のような中途半端な規模で、5年後8年後10年後と国際会議の誘致計画もないまま手をだすことの危険性をたじました。文化的な視点では選択肢が広がるからいいとの答弁でしたが、不要不急な事業に市民の血税を使う必要性はひとつもないことを指摘し考え直すことを求めました。

その4 岡山市民美術展の開催を！

岡山市勤労者美術展が参加者の減少や高齢化のため、昨年度で終了になりました。竹永議員は文化振興計画ビジョンにきちんと位置づけ、市民全体を対象にした岡山市美術展の開催を求めました。費用面や目的、応募資格などを検討中であり、どういう形で開催するかは少し時間をかけて検討するが、する方向で準備しているとの前向き答弁を引き出しました。よかったね！

その5 女性と防災について ～女性の視点で防災マニュアルを！～

東日本大震災から8ヶ月、まだ震災被害のつめ跡が生々しく残る仙台で、11月19日、20日とシェルターシンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、全国で女性への暴力被害者支援のシェルター運営をしている団体の活動交流の場です。今回は特に被災地における女性の人権についての報告が数多くされました。避難所運営に女性の参画ができておらず、強い男性のリーダーの鶴の一声でなかなか女性の意見が通じず、更衣室や仕切り、授乳室もないまま大変な思いで着替えなどをしてきた実態が報告されました。被災という非日常の社会で、保守化し性別役割分担が強化され、女性は家でも嫁、避難所でも嫁という役割を強いられて、被災者でありながらケアする側に回されたという報告もありました。女性は避難所で3度の食事を無給でつくられ、男性は瓦礫回収の仕事にかりだされても有給だとの差別があたりまえにありました。

竹永議員は11月議会で、さんかく岡山（男女共同参画センター）としてもその実態をふまえ、女性の視点をいれた防災マニュアルの作成を、と求めました。マニュアルに女性の視点を入れることや、女性防災リーダーの養成講座をさんかく岡山と連携しながら検討するとの答弁でした。

～性暴力被害者のワンストップ支援を～

成人女性の14人に一人が強姦などの性暴力被害に遭い、3人に一人がDV被害に苦しみ、20人に一人がDVによる命の危険にさらされ、3日に一人ずつの妻が夫の手によって殺されているというのが、今の女性を取り巻く実態です。竹永議員は、第3次さんかくプラン〔素案〕に性暴力被害者支援を位置づけること、ワンストップで被害者支援ができるよう、警察・病院・住居の提供・心理ケア・弁護士などのバックアップ体制を位置づけることを求めました。

11月議会では性犯罪被害者のためのワンストップ支援機能についての陳情が全会一致で採択されました。

性犯罪被害者のワンストップ支援サービスの設置促進は国も、計画に明記しています。市は議会で「今も犯罪被害者支援の相談窓口を設置している、ワンストップ的サービスは検討する」との答弁。陳情では現在準備中の岡山ERの中に24時間対応の総合窓口、緊急診察等の設置を要望しています。私たち女性議員も超党派でERに支援機能をと訴えています。

東区あれこれ！

1.「会陽の里」引き続き岡山中央福祉会に！

指定管理者で岡山中央福祉会に運営委託され5年がたった岡山市の養護老人ホーム「会陽の里」ですが、任期がきた2011年、再公募されあらたに指定管理者が選任されることになりました。2つの法人から応募がありましたが、厳正な審査をうけて、今までの実績が認められ、引き続き岡山中央福祉会に運営委託されることになりました。

今後10年の期間となります。引き続き暮らしやすい施設に頑張っていたきたいと思います。

2.旧カネボウ跡地にグリーンテラスがオープン！

西大寺「元気な新拠点」民間活用エリア（カネボウ跡地）において、地域拠点の形成、日常生活利便性の向上、西大寺地域中心市街地の活性化に資することを目的に民間事業者により事業展開していただく商業施設として「西大寺グリーンテラス」が11月初旬にオープンしました。施設の内容は、ケーズデンキ、ホームセンターコーナン、モミジヤスポーツ、スポーツクラブエンジョイなどが入った複合大型商業施設です。

竹永議員は「地元の商店街などに影響が出るのではないかと?西大寺全体の地域振興策を考えるべき」と指摘していますが、なかなか進まないままのオープンです。また近隣の住民から、スポーツクラブのボイラーの音がうるさく眠れないという相談も来ています。岡山市にも騒音の実態調査などに入ってもらうように要望していますが、相手の三菱地所は大店法に違反してない限り問題がないという態度です。地域住民の安全、安心のために実態をつかみ要望していくことや、今後の地域活性化のためにもみなさんのご意見をお聞かせください。



3.デイサービス 「みえさんちの家」の落成式

11月7日、瀬戸町のデイサービス「みえさんちの家」の落成式にお邪魔しました。この三角屋根のかわいい建物がみえさんちのデイサービスとなり、今までのデイサービスは泊まりもできる小規模多機能事業所にうま



れかわるとのこと。平成15年からデイサービスを開設され、初日は0人、2日目は一人というスタートだったそうですが、今は地域に根ざしたい施設になっています。

NPO法人で施設経営は本当に大変だと思います。せめて法人税減免を！と要望していることを、竹永議員は挨拶の中で報告しました。

理事長の塩見さんの亡くなったおかあさんの名前をつけて「みえさんち」としたとのこと、より感慨深いものがあります。

このままこの三角屋根で笑顔が途切れることのないように保健福祉委員としてもバックアップしたいと竹永議員は言っています。

6.西大寺南小学校で 人権トーク&ライブ

10月23日の日曜参観日のあと、八木たかしさんの人権トーク&ライブが開催されました。

八木さんは倉敷市を拠点に活動をされているシンガーソングライターです。いじめ、しょうがい者、ジェンダーなどいろいろな角度で人権を語り、また子どもに分かりやすく伝えるためのライブでした。会場で一緒に聞いていた若いお父さんが「子どもたちが八木さんと心一つに歌う姿を見て、涙が出た」と率直な感想を言っておられました。たかが歌…されど歌ですね！

7.西大寺小学校の140周年!

10月23日、西大寺小学校の140周年を記念してふれあいコンサートがありました。

地元の方々から大正時代からの写真が寄せられ、地域の方も懐かしいお話を聞かせてくださいました。天皇の写真が飾ってあった建物のなかに、教育勅語があり、そこからいつも先生が厳かに取り出し読んでくれたとのこと。一度だけ、間違えて読んだ先生は首になったと、すさまじい天皇制のもとでの戦前教育がうかがわれました。

子どもたちのダンスやピアノ演奏もあり楽しく交流しました。



4.瀬戸町大内の太秋柿まつりへ

太秋柿は普通の柿より四角く、さくさくしておいしい柿です。瀬戸町大内がこの柿の名産地ということで、11月6日にお祭りが開催されていました。柿のおいしさは有名なようで結構遠方からも人が殺到していました。



5.上道駅の実態調査を



「JR上道駅前のロータリーが送迎の車で混雑してあぶない、なんとかしてほしい！」との声をうかがい、区役所要望で区役所をお願いしていました。

まずは実態調査ということで10月14日夕方6時から2時間、電車の到着時刻にあわせての混雑状況を調査しました。

地元の町内会長さんたちや党の区委員や支部の方も参加してくれました。また区役所の4つの課から職員さんも7人来てくれ、現状をしっかりとみてもらいました。

6時台の高校生が帰ってくる時間帯は11台から13台、7時40分は大人の帰宅時間なのか15台と多くの車が道路にはみ出して駐車をしている危険な実態です。道路からのはいりぐちの拡幅や木の伐採等の必要性も感じましたが、引き続き継続して調査し、まとめて要望することになりました。

8.西大寺五福どおりが ドラマのロケ地に!



2012年のNHKお正月ドラマ「とんび」(放映は1月7日、14日の夜9時~)のロケ地に西大寺五福どおりが選ばれ、9月にロケが行われました。地域の方や区役所の職員もエキストラで総出演! ヤッターネ!

9.子どもを真ん中に!西大寺五福祭り!



西大寺小学校で12月4日、岡山市区づくり事業の一貫として、地域の町内会・婦人会・体協・児童民生委員・コミュニティ協議会・文化☆体験ネット西大寺子ども劇場などの団体が一緒になり、子どもをまんなかにした事業「西大寺五福祭り」が行われました。会場では餅つきをメインに、竹細工やレトロ遊びのコーナーもあり、世代を超えて交流しました。

市政あれこれ!!

ひか☆りんく(岡山市発達障害者支援センター)オープン!

11月18日、勤労者福祉センターの1階の一角について岡山市発達障害者支援センターがオープンしました。愛称ひか☆りんくといいます。

発達障害児と一口に言っても種類もたくさんあり、個別支援で対応も変わってきます、その情報や窓口の一本化が長い間求められていました。

竹永議員も初当選のときからずっと必要性を訴えていましたが、やっとオープンの運びとなりました。相談だけでなく、プレ療育の機能も持つとのことですが、まだまだニーズから言うと受け入れ可能人数は少ないです。利用しながら施設を発展させていきましょう。ぜひ皆さんも利用いただき率直なご意見をお聞かせください!

来年度予算への要望! 390項目

日本共産党岡山市議団として来年度の予算にむけて390項目の要望書を岡山市に提出し、市長・副市長・保健福祉局長・消防局長などと懇談しました。国民健康保険料の値下げや介護保険法改正に伴っての市民負担をふやさないでほしいこと、防災対策など多岐にわたって懇談しました。

高谷市長は「共産党の主張はもっともだと思えることが多いのでしっかりうけとめ吟味したい」とのこと。ぜひぜひ予算に反映していただきたいと思えます。

IKEAにワークライフバランスを学ぶ! 民間企業に委員会として初視察!!

竹永議員が委員長をつとめる議会のワークライフバランス調査特別委員会では、議会としてはじめて民間企業のIKEAに視察に行きました。

IKEAの家具は、家庭が一番というコンセプトでその家庭にあう家具や雑貨の提供をするという理念のもと、働く方についてもライフの部分を大切にしているとのこと。約4割が正規雇用でパートは58%、その他の3%くらいが給与や福利厚生は正規雇用と同じ扱いで時短の働き方をしているセミフルタイマーの方だそうです。

有給休暇100%消化は「must~ねばならない~」ということ、そのほか25日までは病休が90%の有給で取れる(5日までは100%支給)、産前産後9ヶ月休暇プラス育休10ヶ月、12歳までの子どものいる方は年間12日の看護休暇、男性もパタニティ休暇といって、出産日前後から15日休暇がとれるなどなど…すばらしい制度ばかり。

採用のプロセスに時間をとり、しっかり理念を伝え正社員として、長く勤めてもらいたいという企業の姿勢です。人への投資は他を削ってでもおしまないという説明にも感動しました。

実際に働いている方は、いろんな制度をくみあわせれば1ヶ月以上休めることも多く、年間の半分以上しか働かなくてもいい場合もある、繁忙期を避けメリハリつけば年中無休のこの会社でもとれるとのこと…。

まさにワークライフバランスを実践している企業のプレゼンは刺激的でした。



議会改革の先頭に! 本会議インターネット中継へ!

竹永議員は議会改革検討会議の座員として、議会改革の先頭に立って頑張っています。市民に開かれた議会のために、本会議も委員会もインターネット中継をと求めたのですが、まずは本会議からの実施となり、来年度の当初予算で計上される見込みです。また議会基本条例の策定に向けても、ワーキングチームに分かれて検討しています。質問の一問一答方式の導入や、議会主催の市政報告会などの明記をどうするかを議論しているところです。超党派で一致させるために、すぐに決定できることはありませんが、それでも後退をさせないように頑張っています。けれども一方で、代表質問をする議会では個人質問を20分に削減することが決まってしまうました。11月議会では、“時間短縮が議会改革”かのように自ら質問時間を短くする議員や再質問をしないでやめる議員もみられました。「論戦を尽くすことが市民のためです。議員の質も向上できるよう引き続き議論していきたい」と竹永議員は述べています。

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所
☎086-942-1780 毎週月曜日 生活相談 午後6時半~
第三水曜日 法律相談 午後6時半~
(弁護士もきます)

コープ西大寺診療所
☎086-944-0088 第四水曜日 午後6時半~
(要予約)

上道の党事務所
☎086-297-9515 第二水曜日 午後6時半~

* 議会の日程の関係で急に中止になる場合もありますので事前にお電話を!